

9月は「世界アルツハイマー月間」です

国際アルツハイマー協会(ADI:108の国と地域が加盟)が、世界保健機関(WHO)と共同で、認知症への正しい理解が進むことを目的に、世界中で認知症の啓発活動を行っています。市内では、9月30日まで、17時~21時の間、下記施設等を認知症支援のイメージカラーであるオレンジ色にライトアップします。

- ◆ 范中桜並木通り ◆ JR木造駅舎遮光器土偶モニュメント(9月21日(月)~23日(水)のみ)
- ◆ 旧制木造中学校講堂 ◆ 伊藤鉱業アリーナつがる ◆ 銀杏ヶ丘公園(つがる市建設業協会社会貢献事業)

▼ 認知症や地域の高齢者に関する相談窓口 介護、医療、福祉の専門職が相談に応じます。

つがる市地域包括支援センター【電話69-7117】 所在地：稲垣町豊川宮川42番地3

開所日時：月曜日~金曜日(土日祝日、12月31日~1月3日は休所)8時15分~17時

▼ 認知症高齢者の方等を介護しているご家族へ

認知症高齢者の方やその疑いがある方は、記憶力や判断力が低下し、道や場所を間違えるなど、家に戻れなくなる場合があります。市では、認知症による行方不明の未然防止やご家族(自宅などで介護する)の負担軽減のための取り組みを行っています。

1. 見守り・SOSネットワーク(認知症高齢者等の事前登録)事業

- ・ 事前に身体的特徴や写真などを登録できます。
- ・ 事前登録情報を元に、地域関係者の見守りや警察の捜索や地域の発見活動を早期に開始できるメリットがあります。
- ・ 登録後、登録番号を記載した見守りグッズ(キーホルダーなど)を配布します。

2. GPS端末機の利用料助成事業

- ・ 市が指定するGPS端末機の利用料の一部を助成します。
- ・ GPS端末機を使うと、インターネットを通じて、認知症の方の居場所を探索することができます。
- ・ GPS端末機の利用にあたっては、事業者とご家族の契約が必要です。
- ・ 申請前の契約は助成対象になりませんのでご注意ください。

【問い合わせ先】 介護課 電話42-2111(内線243)

令和8年社会生活基本調査を実施します

総務省統計局(青森県)では、10月20日現在で社会生活基本調査を実施します。

この調査は、1日のうちのどのくらいの時間を仕事や家事、地域での活動などに費やしているか、また、過去1年間の自由時間にどのような活動を行ったかを調査し、仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の推進、少子高齢化対策などの政策に必要な基礎資料を得ることを目的としています。

10月上旬から中旬にかけて、調査員が伺いましたら、趣旨をご理解いただき、ご回答をお願いします。

▼ 対象：木造筒木坂地区、森田町山田地区、豊富町千貫地区の世帯の中から無作為に選定します。

【問い合わせ先】 県統計分析課人口労働統計グループ 電話017-734-9169



有 料 広 告

事業計画策定セミナー開催について

補助金の申請には事業計画策定が必須です。商工会では事業者の皆様が、これから事業計画を作成していく際に必要な知識や手法を習得できるよう、本セミナーで解説します。また翌週には希望者を対象に事業計画策定の個別相談会を開催しますので、奮ってご参加ください。

開催日時 10月14日(水)14:00~16:00
開催場所 つがる市商工会2階大会議室
お問合せ先 つがる市商工会
TEL 42-2449(経営セミナー担当)



申込QRコード

事業計画策定個別相談会開催について

事業計画を策定し、今後の経営の発展や各種補助金申請を検討している事業者の皆様を対象とした、事業計画個別相談会を実施します。対象事業所数は3事業所限定となりますので、希望される事業所におかれましては早めにお申し込みください。

開催日時 10月22日(木)10:00~16:00
開催場所 つがる市商工会2階会議室
お問合せ先 つがる市商工会
TEL 42-2449(経営セミナー担当)



申込QRコード

秋の全国交通安全運動

9月21日(月)～9月30日(水)

〈運動の重点〉

- ◆歩行者の安全な道路横断方法等の実践と反射材用品や明るい目立つ色の衣服等の着用促進
- ◆ながらスマホや飲酒運転等の根絶と夕暮れ時の早めのライト点灯やハイビームの活用促進
- ◆自転車・特定小型原動機付自転車の交通ルールの理解・遵守の徹底とヘルメットの着用促進



～つがる市交通安全のつどい～

▼日時：9月18日(金)17時～17時50分 ▼場所：イオンモールつがる柏 1階 シャコちゃんコート

▼プログラム：①オープニングセレモニー ②メッセージの伝達 ③交通安全誓いのことば

※終了後、交通安全運動出動式(駐車場内)

【問い合わせ先】市交通安全対策協議会(防災危機管理課内) 電話42-2111(内線344)

地域おこし 協力隊です！

市に移住し、斬新な視点で地域おこしに取り組む隊員たちが、市の魅力や日々の活動などを報告します。

今月の隊員は

沢田 靖 隊員

今年の4月に地域おこし協力隊に着任し、「メロンの水耕栽培」というミッションに挑んでいる沢田です。

今、ガラス温室の中には、みずみずしく大玉に育ったメロンが実っています。出荷を1週間後に控え、一足先に試食をしてみたところ、口いっぱい甘さと潤いが広がる本当に美味しいメロンに仕上がっています。

思えば4月、小さな種をまいたときは「土を使わない水耕栽培で、本当にメロンができるのだろうか」と不思議でなりません。農業経験のない私にとって、苗の育て方や病気・害虫への対応、日々の作業タイミングは全く未知の世界。液肥の調整、水温や室温・湿度の管理、時には自動開閉窓の修理や換気システムの設定まで、慣れない装置の管理には何度も頭を悩ませました。それでもここまで来られたのは、温かく熱心に手を引いてくださった師匠や関係者の方々の指導があったからです。

初夏には朝から夕方まで何週間も続く受粉作業に追われ、夏バテ気味にもなりました。育苗から栽培管理、誘引、病害虫駆除、そして手順やデータの整理まで、目まぐるしく過ぎる充実した日々。その中で、県外市議の方々の視察や小学生の見学、メディアの取材、農業関係や設備業者など、本当に多くの方がハウスを訪れてくださいました。この挑戦が、地域にとっていかに高い関心を集める大切な分野であるかを肌で感じ、身が引き締まる思いです。

今回育てたのは、赤肉の「レノンハート」と、青肉の「タカミ系新種」のメロンです。4kg以上、20cmを超える大玉もあります。ふるさと納税や、東京・神楽坂のアンテナショップなどでの販売を予定していますが、何よりつがる市の皆さんにぜひ味わっていただきたい自慢の出来栄です。

メロン出荷式やメロンスイカフェスティバルといった、

地域総出で盛り上がる温かい文化に触れ、この街がさらに大好きになりました。

私たちの挑戦は、ここで終わりません。次は温泉熱を利用したガラス温室で、9月から仕込み、冬に食べられるメロンの栽培に挑戦します。寒さが厳しく、日射量も落ちる冬場にしっかりと育ってくれるか不安は尽きませんが、それ以上に大きなやりがいを感じます。

これからも水耕栽培の可能性を広げ、つがる市の新しい魅力として多くの人に美味しいメロンを届けられるよう、一步一步がんばります。ハウスで見かけた際は、ぜひ気軽に声をかけてくださいね。



大きくておいしいメロンが育ちました